



2021年6月18日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 丸井 武士  
(コード番号 6675 東証第1部)  
問 合 せ 先 財務部長 長谷川 正治  
(TEL. 03-5791-5511)

(訂正)「有価証券報告書等に係る監査報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」  
の一部訂正について

2020年10月13日に「有価証券報告書等に係る監査報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」  
について公表いたしましたが、一部の記載に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

「有価証券報告書等に係る監査報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」につき5ページの  
「(14) 第17期(2020年3月期)第1四半期四半期報告書に係る四半期レビュー報告書」の記載  
に誤りがありましたので訂正いたします。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

【訂正前】

(14) 第17期(2020年3月期)第1四半期四半期報告書に係る四半期レビュー報告書

受領した第18期(2020年3月期)第1四半期の連結財務諸表に係る四半期レビュー報告書の  
限定付適正意見の根拠は以下(原文抜粋)のとおりであります。

当監査法人は、前連結会計年度の連結財務諸表に対する監査における重要な拠点の見直しによ  
り重要な拠点となった連結子会社については、前連結会計年度の期首の棚卸資産の实地棚卸に立  
ち会うことができず、また、代替手続によって当該棚卸資産の数量を検証することができなかつ  
た。そのため、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の売上原価等に修正が必要かどうか  
について判断することができず、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表  
に対して限定的結論を表明している。当該事項が当連結会計年度の第1四半期連結累計期間の数  
値と対応数値の比較可能性に影響を及ぼす可能性があるため、当連結会計年度の第1四半期連結  
累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。この影響は前連結会計年度  
の第1四半期連結累計期間の売上原価等の特定の勘定科目に限定され、他の勘定科目には影響を  
及ぼさないことから、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表全体に及

ぼす影響は限定的である。したがって、四半期連結財務諸表に及ぼす可能性のある影響は重要であるが広範ではない。

(後略)

【訂正後】

(14) 第18期(2021年3月期)第1四半期四半期報告書に係る四半期レビュー報告書

受領した第18期(2021年3月期)第1四半期の連結財務諸表に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見の根拠は以下(原文抜粋)のとおりであります。

当監査法人は、前連結会計年度の連結財務諸表に対する監査における重要な拠点の見直しにより重要な拠点となった連結子会社については、前連結会計年度の期首の棚卸資産の实地棚卸に立ち会うことができず、また、代替手続によって当該棚卸資産の数量を検証することができなかった。そのため、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の売上原価等に修正が必要かどうかについて判断することができず、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。当該事項が当連結会計年度の第1四半期連結累計期間の数値と対応数値の比較可能性に影響を及ぼす可能性があるため、当連結会計年度の第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。この影響は前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の売上原価等の特定の勘定科目に限定され、他の勘定科目には影響を及ぼさないことから、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表全体に及ぼす影響は限定的である。したがって、四半期連結財務諸表に及ぼす可能性のある影響は重要であるが広範ではない。

(後略)

以 上